

タウンミーティング議事録

1 日 時

令和元年 6 月 2 9 日（土）午後 1 時から 4 時まで

2 場 所

流山市役所 4 0 1 ・ 4 0 2 会議室

3 参 加 者

（1）特別職

井崎市長、石原副市長、後田教育長、志村上下水道事業管理者

（2）部 局 長

須郷総合政策部長、安井財政部長、伊藤市民生活部長、
早川健康福祉部長、秋元子ども家庭部長、田中環境部長、
武田都市計画部長、石野都市整備部長、石井土木部長、
菊池教育総務部長、前川学校教育部長、飯塚生涯学習部長

（3）事 務 局（秘書広報課）

中野課長、影山課長補佐、三好係長、金子臨時職員、須賀主事（記

4 来場者数

2 6 名

5 質疑回答

裏面のとおり

【子育て・教育】

Q 市民

今後子どもが小学校に進学するにあたって共働きの親が安心して働けるような環境を整えてほしく2点提案があります。

1点目は、学校への連絡や連絡網について、電話や紙媒体で行うのではなく、保育園で行われているようなアプリを利用するなどインターネットを介して、いつでも連絡が取れるような手法を取り入れてほしいです。

2点目は、PTAに関する保護者の負担についてです。働きながらもPTAなどで貢献できるように融通の利く環境を整えてほしいです。

A 市（学校教育部長）

アプリなどのインターネットを経由した、学校への連絡や連絡網については今後検討してまいります。

PTA活動については任意加入ではありますが、働きながらもPTA活動に参画したいという御意見をいただけると大変心強いです。今後、保護者の方々に負担のない方法を検討してまいりたいと思います。

Q 市民

転勤が多く、関東圏内で子育てがしやすい場所を探していて、6～7年前に流山市の「母になるなら流山」というキャッチフレーズに惹かれ転入してきました。

仕事をしながら子育てを行える環境作りという観点で2点提案があります。

まず、病児保育についてです。病後児保育については、実際には保育園に行けそうな具合まで回復したところでの利用となるので、少し役に立たなかったかなというのが感想です。なので、病児保育についてももう少し拡大してほしいです。

次に、子どもが小学校に進学し、学童でもいつも楽しく過ごさせていただいています。昨今、子どもが巻き込まれる痛ましい事件が多発しています。防犯面での心配があるので暗証番号制の扉の導入など、教師・子どもが共に安心して過ごせるように検討していただけないでしょうか。

A 市（子ども家庭部長）

令和2年4月に流山おおたかの森セントラルパーク駅近くに病児保育ができる保育園が開園予定です。病児保育については看護師を確保することなどハードルが高い部分もあるのですが、少しずつ拡大していければと考えています。

学童クラブは放課後に仕事等で家庭に保護者がいない小学生を対象に居場所を提供する事業であり、安心安全にお預かりすることが本事業の使命です。引き続き安全確保に努めることとしており、ご提案いただいた内容も含め、学校・学童クラブの安全面について検討してまいります。

Q 市民

現在1歳3か月の子どもを育てています。週末に3歳未満の子どもが利用できる遊び場がないので、柏市の若柴まで行っています。可能であれば土日に3歳未満の子供が遊べる場所を検討してほしいです。図書館や公民館に人員は配置しなくてもいいので広めのスペースを確保して大きな積み木などがあると嬉しいです。

A 市（生涯学習部長）

公民館については施設の設置目的が異なるので、児童用のスペースを確保するのが難しいです。

児童館については毎週ではないですが、週末に開館しているところもあるので、ぜひ利用していただければと思います。

Q 市民

児童館は大きな子どもも遊んでいて衝突事故が怖いので、できれば3歳未満の子ども専用のスペースを確保できないでしょうか。

A 市（子ども家庭部長）

既存の児童館については3歳未満専用のスペースはなく、指導員が注意しながら事故が起こらないように対応しているところです。

おおたかの森と南流山に新設する予定の児童館ではスペースを分ける予定ですので、少し先のことにはなりますが、ぜひご利用ください。

Q 市民

流山市は「母になるなら流山」というキャッチコピーのようにブランディングは成功していると思いますが、おおたかの森駅前付近に幼稚園がないことや、子育てハンドブックの質が柏市に負けているように、ブランディングに施策が追い付いていないように感じます。

そこで提案なのですが、職員のマインドセット、人材育成や予算措置をもっと行ってはどうか。

A 市（市長）

流山市では情報発信をしてマスコミに取り上げていただくという努力をしているため、実はブランディングにあまり予算を割いていません。民間でマーケティングを専門に行っていた方をヘッドハンティングし、マーケティング課にて任期付きの職員として採用しており、この優れたマーケティングに続く実際の実務の部分の人材育成については、引き続き研修等を活用し努力をしていきたいと思っています。

次に、子育てハンドブックについてですが、他市にできて流山市にできないということは無いと思うので、その点については努力してまいりたいと思います。現在子どもについては子ども家庭部、乳幼児については健康福祉部保健センターというように別々に対応している状態であり、この点がわかりにくいと感じられる要因かと思われます。こちらについては来年作成する際に一体化することを考えています。

最後に、幼稚園についてですが、民間の事業者に対して特定の場所に設置するようにコントロールすることは難しいのが現状です。

Q 市民

職員の皆様がとても頑張っていらっしゃるのがすごく伝わりました。ただ、優れたマーケティングに、人材が足りない課の方々が疲れてしまい、それが苦情に繋がってしまうことがあるのかなと感じました。なので、そういった部分にも予算を割いてもらってもいいのかなと思いました。

A 市（市長）

ブランディングが先行しているわけではなく、施策のニーズに対応が追い付いていないということだと思います。その点については業務に優先順位を

つけるなどの工夫をして対応してまいりたいと思います。

Q 市民

いつも市長の Twitter を拝見しています。

昨年9月に都内（新宿区）から転入してきて1歳の子育てをされていて、流山市は公園も多くあり、コミュニティバスもあり、とても住みやすいと感じています。

ただ、「母になるなら流山」というキャッチフレーズに対して、都内と比べると質が低くギャップを感じました。

都内では、妊娠や出産時のお祝いの品であったり、陣痛タクシーというものがありません。財政基盤が強い都内と比べるとは酷なのかもしれないが、出産のお祝い品などがあると、出産の後押しをしてくれるのだと感じます。その際に、友好都市の長野県の木工細工をお祝い品にするなどしたらどうでしょうか。

A 市（市長）

妊娠や出産に関するお祝い品ですが、流山市は現在他市に比べて子どもの割合が非常に多くなっています。限られた予算の中では保育園の整備など必要なサービスを優先することとなるので、ご了承いただきたいと思います。

Q 市民

図書館の蔵書が古く感じます。今後に向けて英語の絵本などを取り入れてみてはどうでしょうか。

A 市（生涯学習部長）

子供向けの図書館であればおおたかの森小中学校にある子ども図書館では子ども向けの絵本を多く用意しているのでぜひご利用ください。

南流山地区に令和4年度に地域図書館を作る予定であり、こちらについては子育て支援施設との複合施設となります。

また、ブックスタート事業として、子どもが絵本を楽しめるように各施設に絵本を配布も行っています。

今後も図書施設の充実に努めてまいります。

Q 市民

先ほどご紹介いただいたおおたかの森の子ども図書館でも蔵書が不十分だと感じます。そこで、各家庭で子どもが大きくなり不要となった絵本や雑誌を古紙回収ではなく寄付という形で集めることができればいいなと思います。

A 市（生涯学習部長）

本の寄贈については現在受け付けており、有効活用させていただいています。

Q 市民

普段中央図書館を利用していますが、江戸川台の図書館（森の図書館）がすごく綺麗だと感じます。本館は古くて暗く感じ、2階の閲覧室も会議室の有り合わせの机椅子を集めたようで環境が良くないと感じます。もう少しゆったりと読書できる環境になるように工夫してほしいなと思います。

A 市（生涯学習部長）

中央図書館本館は昭和53年築で、築後41年が経過しています。建て替えを行うのではなく、長寿命化により長く有効活用するというのが現在の市の考え方であり、大規模改修を行う予定です。

2階部分の閲覧室については、大規模改修とは別に快適になる工夫を検討してまいりたいと思います。

Q 市民

夏休み子ども居場所づくり事業に去年応募したが落選してしまいました。どれくらいの倍率だったのかを教えてください。

A 市（生涯学習部長）

抽選ではなく低学年のお子様を中心にお預かりさせていただくという形をとっており、昨年の倍率は約2倍でした。

今年も市内3つの小学校で事業を展開しており、定員を50名に増やしました。また、昨年は欠席される方が多かったので、全日程の必ず半分以上に参加していただける方に限定して募集をさせていただき、昨年は1・2年生しか参加することができなかった点についても、今年は南流山小学校・小山

小学校については３年生までお預かりできるようになりました。

Q 市民

１０月１日より職場復帰を目指し、保育所の入所申請を考えているが、例年だと８月５日～９月５日に申し込みを行い９月２１日頃に結果の通知が送られてきますが、職場に提出する書類の関係から、もう少し早めに結果を出すことはできないのでしょうか。

A 市（子ども家庭部長）

特定の個人のみを特別扱いすることはできず、また、審査や事務処理の関係から結果をこれ以上早く通知するのが難しいのが現状です。ですが、なにかしらのサポートをご案内できればと思いますので、申請の際によく窓口でご相談いただければ幸いです。本日のお話は窓口担当職員にもしっかりと伝えておきます。

【福祉】

Q 市民

送迎保育ステーションや信号付近での旗振りのように、これからは高齢者の方が生きがいを持って社会とつながる仕組み作りが大切だと思います。児童館で子どもと高齢者が共存できる仕組みなどがあったら素敵だと思います。

A 市（市長）

流山市の場合、公益事業やNPO活動がとても盛んであり、これは多くの高齢者の方々が先導して行ってくれているものです。

そして、流山市の高齢者の平均寿命は県内一です。これからは健康寿命を延ばすことが大切であり、そのためにも、生きがいを持って地域活動に貢献してもらいたいと思います。

例えば、江戸川台にあるジョブサポート流山やシルバー人材センターでは特技や実技を活かして社会に貢献していただいている方もいます。

また、ボランティアであったり、高齢者の中に子どもを招き入れて昔の遊びを教えたり、先月末には、高齢者の方に児童館にお越しいただき、子どもたちにお手玉作りを教えるということを行いました。今後もこのような活動を広げて交流に繋がればと考えています。

Q 市民

精神障害2級でありヘルプマークを付けていますが、差別的な扱いを受けているという自覚があります。

以前、障害者支援課で病院代を支援してくれるような制度の説明を求めたが、そのような福祉手当はないとの説明でした。その後、同じような境遇の方から自立支援制度の話聞き障害者支援課に確認したところ、「対象であるので申請書類を送りますね」という発言がありました。以前はそのような制度がないとの説明であった点について確認したところ、「昔に説明しました」の一点張りでした。直接窓口に赴き話を伺うも、いつ、誰がその説明を行ったのか、納得のいく回答をいただけていません。

事実の確認と過去の分まで遡って支給を受けられないか検討してもらえな

いでしょうか。

A 市（健康福祉部長）

この場で過去に遡り支給できるかはお答えできないので、詳細を確認し、適切な回答を行いたいと思います。後程連絡先を教えてください。

窓口担当の説明が至らなかったとすれば、再発防止のためにも職員の知識の向上を含めて接客対応の向上に努めてまいります。

Q 市民

当時の担当者からは「遡っての支給は絶対に無理だ」と言われましたが、なぜ上の立場である部長が答えられないといい、担当の方が無理だと言いつけるのか理解ができません。

もし、自立支援制度のことについて説明できなかったとするのならば、窓口で担当した職員が自立支援制度の担当の職員でなかったことが考えられると説明されたことがありました。そうならば、その職員の説明後に自立支援担当の職員に窓口を交代し説明をするべきだったと思います。このような組織的な仕組みができてなかったのが原因なのではないかと思います。

A 市（健康福祉部長）

担当の職員の「無理」という説明については、無理であるならば法令に基づいた理由などを説明すべきだったと思います。この後詳細について確認させていただいて、しっかりと理由等も含めて説明させていただければと思います。

障害者支援についてはかなり細かい仕組みであることから、窓口の対応についても係間の連携、窓口担当同士の連携が取れるように、今後窓口の仕組みについても、十分に取組みさせていただければと思います。

Q 市民

都内から来た知人によく「都心に一番近い森のまち」というが森はどこにあるのかと言われます。おおたかの森についても、おおたかも森もないので接続詞しか残っていないねと冗談で言われることもあります。昔から住んでいる者として、少し開発が進みすぎているのかなと感じます。

また、地域交流の点からですが、私は起業をするつもりなのですが、社会

経験がない若者がどのようにすればいいのかがわかりません。そこで、先ほど話に出ていたリタイアしたが経験豊富な高齢者の方と起業したい若者がマッチングできるような場を提供していただけないでしょうか。新たな雇用の創出にもつながると思います。

A 市（市長）

まず、起業については創業セミナーをお勧めします。若者だけでなく、退職されてこれから何かを始めようという人も参加しており、刺激があり一番有効だと思います。

緑については、昔の雑木林に覆われていた流山市と比べると区画整理等により緑は減っていると思います。しかし、つくばエクスプレスに乗れば広大な斜面緑地があり、住宅地においてもグリーンチェーン戦略等により緑が多く存在しています。この都市化を進めるにあたって、いかに多くの緑と共生していくかという点について、流山市は優れていると考えています。

流山市の市の鳥おおたかについてですが、市内に生息しており、都心にかなり近い流山市でおおたかの生息できる環境を保全できているということだけは市の名誉のためにご説明させていただきます。

【都市開発・交通・自然保護】

Q 市民

松ヶ丘ふるさとの森公園は近々伐採されると聞いています。公共性の高い公園ですが、なぜこのようなことになってしまうのでしょうか。

A 市（都市整備部長）

松ヶ丘ふるさとの森公園は借地公園として、地権者から土地をお借りしている公園です。地権者のご都合により一部を返してほしいとの要望があり、市としても何とか森を残せないか協議を重ねてきましたが、一部を返却することとなりました。市としても残念ではありますが、残った部分の取得も視野に入れて、保全に向けた協議を行っております。

Q 市民

先月くらいに家の前で2台の車の盗難被害がありました。地域に街灯が少ないところも多く、空き巣に入られたという話も聞きます。治安に対する対策を聞かせてほしいです。

A 市（市民生活部長）

防犯灯については自治会から要望を受けて毎年400台くらいずつ設置しています。

防犯カメラについては補助金などの財源を確保しながら、平成30年から令和元年にかけて10台ほど設置しています。

Q 市民

区画整理区域の住所変更について、お聞きしたいです。

A 市（都市整備部長）

住所変更については5月10日に換地処分、5月11日から住所が変更となりました。現在は、法務局が換地処分に伴う区画整理登記を行っております。

お客様のお住まいが保留地と仮定してのお話ですが、施行者がハウスメー

カーに販売した保留地については、区画整理登記完了後に個々の宅地に分筆され、それぞれ枝番が振られることになります。

本日詳しい資料等もお持ちしていますので、後程個別に詳しくご説明をさせていただきます。

Q 市民

ドッグトレーナーを行っており、災害時のペットの避難についてお聞きしたいです。鎌倉や逗子はペットの避難について進んでいるのでぜひ参考にしたいです。

A 市（市民生活部長）

東日本大震災の際には多くの方がペットの同行避難に馴染みがなく、ペットを置き去りにしてきてしまったという話を聞きました。

流山の取り組みとしては、防災訓練の中では千葉県の愛玩動物協会千葉県支所とペット同行避難の備えに関する啓発を行っています。今年の9月にも同じように啓発に努める予定です。また、動物愛護セミナーで適切な飼育やペットの餌の備蓄について講演会を行いました。

今後もペットとの共生について研究してまいります。なにか御意見がございましたら、ぜひ参考にさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

Q 市民

平成31年3月に女性向け創業スクールを卒業しました。セミナーに参加した人は比較的情報の収集に優れていると思っていましたが、意外とナイトカフェなど情報が知られていなく、おたかの森付近に住んでいる人以外には知られていないのかなと思いました。もっと市全体に情報が広まればいいなと思いました。

A 市（市長）

情報の発信について、市としては広報やFacebookを使って多く発信しており、流山本町や利根運河のイベントの際に多くの方々が出展されていることを見て周知していただけていると感じておりました。

ぜひ、セミナーの際に直接ほかの方々に対して情報を発信していただき、

情報を共有していただければと思います。

Q 市民

南流山に3年住んでいますが、流山市と柏市は渋滞が特にひどいように感じます。大きな道路が渋滞すると生活道路にも車が入ってくるようになり、とても危ないと感じています。大きい道路の開通以外に何か対策を行ったりしていれば教えていただきたいと思います。

A 市（土木部長）

南流山にお住まいとのことなので、流山橋付近の渋滞のことかと思いますが。流山橋付近の渋滞は市の中でも一番の渋滞箇所だと認識しています。

流山市は、西側は江戸川、東側は国道6号線や16号線のような一級国道を経由しないと他所の地域にアクセスしにくい状況にあり、この渋滞問題については、大きな課題であると捉えています。

対応についてですが、一部有料となりますが、中央消防署の横に三郷・流山橋を令和4年度までに完成させるという予定で現在工事を進めています。

また、三郷・流山橋と同じく県事業にはなりますが、流山インターチェンジを降りて南流山方面に向かう4車線の都市計画道路、「3-3-2号線」があります。一部事業が止まっている状況ではありますが、令和2年度に完成する予定となっています。今一番ネックとなっている流山線との立体交差部分の工事を進めています。これが完成すると、流山インターチェンジから降りてきて松戸方面に用事がある方は、市役所前の流山街道を通らずに、3-3-2号線を通して松戸方面に向かうこととなります。

このように、通過交通については大きい幹線道路にて交通を流し、生活道路への車両の流入を避けたいと考えています。

別方面として、一部南流山のエリアでは、ゾーン30という、エリアを限定して30キロ以上の速度を出してはいけないという、警察による交通規制を行う形でも安全対策については講じています。

Q 市民

流山市の次期総合計画がある中で、今後どのように街が成長していくのかをお聞きしたいです。

健康にかかわる仕事をしていて、先ほど健康寿命を延ばしていくという話

があったことから、市内に多くの運動施設ができればいいなと考えています。

また、子どもたちが成長して、市内から将来のオリンピック選手が生まれると嬉しいので、学校の校庭の運動施設を建てたりと運動施設の充実化を行ったりしてはどうでしょうか。

次期総合計画の中に何か予定があるようでしたら教えていただけ無いでしょうか。

A 市（教育長）

健康寿命と平均寿命の差については男性で10年、女性で12年あり、全国の自治体で、高齢者の方に生きがいを持って健康的に生活してもらうことは大きな課題となっています。

流山市では高齢化率については子どもの増加により減っていますが、高齢者数は増加しています。

空き家や自治会館を利用して、高齢者が日中に集って交流を深めていただく、高齢者ふれあいの家を市内に23か所設けております。

また、ながいき100歳体操という今ある元気を維持、増進していく体操も市内30か所以上で取り組まれています。

このように高齢者の身近な場所で健康寿命を延ばす取り組みに力を入れており、今後も拡大していこうと考えています。

運動施設としては屋内施設ではキッコーマンアリーナ、屋外施設では市内3か所のスポーツフィールドが現在市民の皆様に利用していただいているところです。

今後としては運動公園や、コミュニティプラザを有効活用してまいりたいと考えています。

学校教育は知・徳・体のバランスの取れた教育を推進しています。

学校教育の中でオリンピック選手を育てようという特別な取り組みは行っていないですが、千葉県の施策の中に「遊・友スポーツランキング」というものがありまして、流山市は大賞をとりました。

特に、陸上競技大会でも県大会や全国大会で表彰される選手も多く、直近の話ですと、市内で水泳のオリンピックに出場となった選手も出ています。

毎年2月にスポーツや文化活動で活躍した生徒に対して流山市長表彰というものを行っており、80名を超える生徒が表彰されています。

県では1位、関東大会なら3位以内、全国大会なら6位以内という高い基準ながらも、毎年表彰者が増加しています。子どもたちが小さいころから運動に慣れ親しめる環境作りを目指していますので、皆様におかれましても、子どもたちを見守っていただき、何か良い方法や御意見がありましたらぜひお聞かせいただきたいと思います。

【公共施設等】

Q 市民

市内の芸術作品の展示スペースが狭いと思います。書道では2 m 4 0 c mの作品が一般的であり、高さが足りていないのが現状です。

現在は生涯学習センターのギャラリーで展示を行っていますが、できれば天井の高いアートフォーラムのようなものがあればと思います。

A 市（生涯学習部長）

展示については生涯学習センター、市役所1階の市民ギャラリー、杜のアトリエ黎明で行っているところです。

確かに展示についてガラスケースの中には2 mのものまでしか入りませんが、生涯学習センターでは壁に展示したり、間仕切りを利用すれば2 m 4 0 c mのものも展示できるかと思います。

また、おおたかの森ホールも平土間で間仕切りを利用できるので、御利用ください。

あわせて、広報ながれやまの平成30年11月11日号にて流山市内のギャラリー特集号が発行されており、本日お持ちしておりますので、ぜひこちらでもご参考いただければと思います。

Q 市民

利根運河の朝市では出展者の駐車場はありますが、来客者のための駐車場がなく、駐車場があればもっと来客者が増えるのではないかと思います。

A 市（副市長）

運河付近の駐車場については、歴史的建造物である新川屋という旅館を買い取りました。今後補助金を得ながら建物、駐車場を整備していきたいと考えていますので、もうしばらくお待ちいただければと思います。

Q 市民

毎回行っているタウンミーティングは年齢層が高いですが、今回のような年齢層だと意見が言いやすく、今後も時々でもいいので、このような方式で

の開催をお願いします。

今後、交流人口を増やすという観点からも、国内外において共通言語で流山市の良さを語れるかということが大切になってくると思います。オリンピックを通じてオランダとの交流を持つという話も聞いていて、それもすごく良いのですが、共通言語として流山の良さを世界に発信してほしいです。次期総合計画で SDGS を共通言語として取り入れてもらい、そのビジョンを示していただけないでしょうか。

A 市（総合政策部長）

次期総合計画では、SDGS の目標にのっとって、施策に関連付けています。

国際目標と自治体目標で異なる点が出てきますが、市民の皆様にも身近な施策が国際目標にも繋がるように調整を行っている所です。

また、来年のオリンピックに向けて、流山市をオランダの事前キャンプ地としてもらうための誘致活動を現在行っています。まだ協定は結べていませんが、今後実現するように努力をしているところです。

Q 市民

もう一点、地域で使用するエネルギーについて、例えば化石燃料であれば輸入して地域で消費するという点で地域のお金が海外に流出していると言えます。地域内でエネルギー調達することで自治体の収支を改善して、個別の政策を行う時の財政的な制約も解消されるので、部局を横断して検討し次期総合計画に反映していただくことで、よりよい行政運営に努めていただければと思います。

A 市（環境部長）

流山市においても、立地条件などにより異なる点はあるかと思いますが、他市の事例も参考にしながら、地域エネルギーについては研究しています。

成田市と香取市に行き、焼却場の発電を利用して新電力会社を作り、市内の公共施設に送電するという仕組みを視察してきました。しかし、流山市では焼却場やクリーンセンターで自家発電をしていますが、売却するほどの電気量には達しておらず、今後も難しいのではないかと考えています。

今は太陽光に注目しており、補助金を出して皆様に省エネルギー設備を活

用していただくということに力を入れています。

【その他】

Q 市民

市内の特定検診では市内の３病院が対象になっていると思います。以前柏市に住んでいた時には、市内の病院に加えて近隣の市、さらに都内の病院も提携していて、かなり選択肢が多かったです。流山市ではもっと対象を広げることにはできないのでしょうか。

A 市（健康福祉部長）

特定検診については、検診の内容によって産業医に限らず、流山市医師会を通じて協力していただける市内の病院でも受診できます。

がん検診については、医療機関に限らず、がん検診のバスが保健センターなど特定の場所に來ますので、そこで受診していただくことも可能です。毎年５月頃に配布される保健だよりや市のホームページで確認できます。

これらの検診については、流山市医師会と協定を結び行っている市の事業であるということから、市外の病院では残念ながら受診できないこととなっています。

具体的な病院等のご案内についてはこの後個別にご説明させていただければと思います。